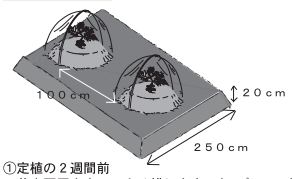
本紙はご自由にお持ち帰り下さい

メロンの上手な作り方

1 土作り

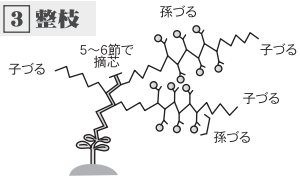


①定植の２週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。（１㎡に100g）
②定植の１週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
（１㎡に堆肥３Ｌ・肥料100g）

2 定植

③４月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしてゆきます。

3 整枝

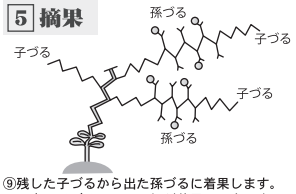


⑤本葉５～６枚出たところで親づるの芯を摘みます。その後生育の良い子づるを２～３本伸ばし、残した子づるの６～10節目から出る孫づる以外の雄花は早めに摘み取りましょう。

4 授粉・追肥

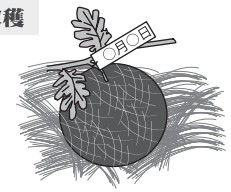
⑥授粉します。雄花の花弁をとり、おしべの花粉をめしべの先端に付けます。結実させるのに、人工授粉が有効です。
※メロンの雌花は１日花です。咲いた日の午前が授粉作業のタイムリミットです。
⑦果実が卵大になったら追肥を施します。１株につき一握りの化成肥料を株の両側にすき込みます。
⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土に付かないように敷きわらをします。

5 摘果



⑨残した子づるから出た孫づるに着果します。
１本の子づるに３～５個が着果の目安です。
摘果は早めにすると良いでしょう。
※ネット系のメロンは、１つるに１～２果（１つの苗で３～４果）に抑えた方が良い実が採れます。

6 収穫



⑩収穫の目安は開花後（交配後）35～40日です。葉の緑が枯れ出し、葉全体が黄色くなったら収穫です。果実の外観では収穫期がわからないので、授粉させた日付がわかるように札をつけておくと良いでしょう。

カネコ種苗株式会社

本紙はご自由にお持ち帰り下さい

メロンの上手な作り方

1 土作り

①定植の２週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。（１㎡に100g）
②定植の１週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
（１㎡に堆肥３Ｌ・肥料100g）

2 定植

③４月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしてゆきます。

3 整枝

⑤本葉５～６枚出たところで親づるの芯を摘みます。その後生育の良い子づるを２～３本伸ばし、残した子づるの６～10節目から出る孫づる以外の雄花は早めに摘み取りましょう。

4 授粉・追肥

⑥授粉します。雄花の花弁をとり、おしべの花粉をめしべの先端に付けます。結実させるのに、人工授粉が有効です。
※メロンの雌花は１日花です。咲いた日の午前が授粉作業のタイムリミットです。
⑦果実が卵大になったら追肥を施します。１株につき一握りの化成肥料を株の両側にすき込みます。
⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土に付かないように敷きわらをします。

5 摘果

⑨残した子づるから出た孫づるに着果します。
１本の子づるに３～５個が着果の目安です。
摘果は早めにすると良いでしょう。
※ネット系のメロンは、１つるに１～２果（１つの苗で３～４果）に抑えた方が良い実が採れます。

6 収穫

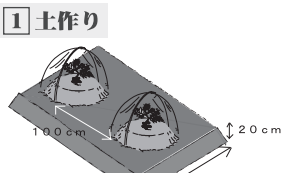
⑩収穫の目安は開花後（交配後）35～40日です。葉の緑が枯れ出し、葉全体が黄色くなったら収穫です。果実の外観では収穫期がわからないので、授粉させた日付がわかるように札をつけておくと良いでしょう。

野菜の育て方４－３
カネコ種苗株式会社

本紙はご自由にお持ち帰り下さい

メロンの上手な作り方

1 土作り

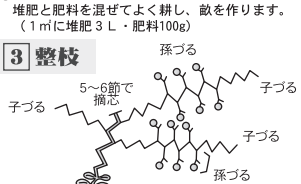


①定植の２週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。（１㎡に100g）
②定植の１週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
（１㎡に堆肥３Ｌ・肥料100g）

2 定植

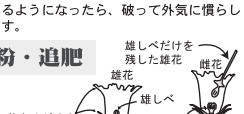
③４月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしてゆきます。

3 整枝



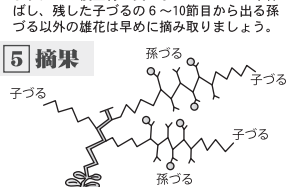
⑤本葉５～６枚出たところで親づるの芯を摘みます。その後生育の良い子づるを２～３本伸ばし、残した子づるの６～10節目から出る孫づる以外の雄花は早めに摘み取りましょう。

4 授粉・追肥



⑥授粉します。雄花の花弁をとり、おしべの花粉をめしべの先端に付けます。結実させるのに、人工授粉が有効です。
※メロンの雌花は１日花です。咲いた日の午前が授粉作業のタイムリミットです。
⑦果実が卵大になったら追肥を施します。１株につき一握りの化成肥料を株の両側にすき込みます。
⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土に付かないように敷きわらをします。

5 摘果



⑨残した子づるから出た孫づるに着果します。
１本の子づるに３～５個が着果の目安です。
摘果は早めにすると良いでしょう。
※ネット系のメロンは、１つるに１～２果（１つの苗で３～４果）に抑えた方が良い実が採れます。

6 収穫

⑩収穫の目安は開花後（交配後）35～40日です。葉の緑が枯れ出し、葉全体が黄色くなったら収穫です。果実の外観では収穫期がわからないので、授粉させた日付がわかるように札をつけておくと良いでしょう。

野菜の育て方４－３
カネコ種苗株式会社

本紙はご自由にお持ち帰り下さい

メロンの上手な作り方

1 土作り

①定植の２週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。（１㎡に100g）
②定植の１週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
（１㎡に堆肥３Ｌ・肥料100g）

2 定植

③４月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしてゆきます。

3 整枝

⑤本葉５～６枚出たところで親づるの芯を摘みます。その後生育の良い子づるを２～３本伸ばし、残した子づるの６～10節目から出る孫づる以外の雄花は早めに摘み取りましょう。

4 授粉・追肥

⑥授粉します。雄花の花弁をとり、おしべの花粉をめしべの先端に付けます。結実させるのに、人工授粉が有効です。
※メロンの雌花は１日花です。咲いた日の午前が授粉作業のタイムリミットです。
⑦果実が卵大になったら追肥を施します。１株につき一握りの化成肥料を株の両側にすき込みます。
⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土に付かないように敷きわらをします。

5 摘果

⑨残した子づるから出た孫づるに着果します。
１本の子づるに３～５個が着果の目安です。
摘果は早めにすると良いでしょう。
※ネット系のメロンは、１つるに１～２果（１つの苗で３～４果）に抑えた方が良い実が採れます。

6 収穫

⑩収穫の目安は開花後（交配後）35～40日です。葉の緑が枯れ出し、葉全体が黄色くなったら収穫です。果実の外観では収穫期がわからないので、授粉させた日付がわかるように札をつけておくと良いでしょう。

野菜の育て方４－３
カネコ種苗株式会社